

令和元年度公立学校共済組合兵庫支部第2回運営審議会の概要

1 日 時 令和2年3月5日(木) 午前10時45分～

2 場 所 ホテル北野プラザ六甲荘

3 出席委員

小野 泰司 (代理 谷 充弘)	川原 芳和	小西 宏典
成田 徹一 (代理 兼本 浩孝)	西嶋 保子	西田 健次郎
森戸 卓也	八木 康文	山根 尚
		吉田 克也

(以上10人：50音順敬称略)

4 議 題

令和2年度公立学校共済組合兵庫支部及び神戸宿泊所の事業計画並びに予算に関する件

5 議 事

(1) 会議の成立

会議の資格審査については、代理者を含め、委員10人全員の出席により本審議会の成立が宣言された。

(2) 支部長あいさつ

おはようございます。

今日は少し寒く、久しぶりに冬が戻ってきたようなところですが、本年度2回目となります支部運営審議会にご出席いただきありがとうございます。

日ごろから支部の運営にご協力をいただいておりますことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今回は令和2年度の予算、事業計画をご審議いただくことになっておりますので、よろしくお願いいたします。

今年度は、昨年と同様に兵庫県からの要請に基づきまして健康関連、防災用品の配布をさせていただいております。学校厚生会のご協力をいただきながら円滑に配布がすすんでいるのではないかと考えております。

さて、令和2年度の支部運営にあたり、一番大きな要素は臨時的任用教職員が正式に組合員となり、組合員数が5,000人ほど増えるということです。その影響で事業をどうするか、特に保健事業については保健事業検討委員会の結果をもって、取り組ませていただこうと思っております。

また、一番大きな課題は、六甲荘です。

現在、新型コロナウイルスの影響が非常に大きいものとなっております。

今年も非常に厳しく、今の状況では来年度4月になっても、仮に新型コロナウイルスが終息をしたとしても、六甲荘の宴会や宿泊に、4月当初から去年並みの宿泊や宴会があるか、非常に疑わしいというか、楽観視できないと思っておりますので、来年一年間をなかなか見通せない状況です。

よって、影響を多めに見込んだ予算案としております。

来年度一年間、これよりも落ち込むことがないように営業努力をして、来年の決算見込みは、これだけ良くなりましたというご報告ができるよう臨んでいきたいと思っております。

なかなか厳しい状況ではございますが、皆様方のご協力をいただきながら、兵庫支部、六甲荘の運営に努力してまいりたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願い致します。

(3) 議案審議

会長

それでは、審議に入ります。

議案「令和2年度公立学校共済組合兵庫支部及び神戸宿泊所の事業計画並びに予算に関する件」について、事務局から説明をお願いします。

(4) 事務局説明

事務長

説明に先立ちまして、1件ご報告をさせていただきます。

令和元年度事業として、県教育委員会から、阪神・淡路大震災25年にあたり、県費職員の防災と健康の保持増進に関する取組を支援する事業の実施について依頼があったため、健康関連用具等の配付事業を実施することとしました。事業実施期間の関係からも急を要したため、支部において決定、実施させていただきました。ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。

ア 総括

一般組合員は、46,564人で、今年度に比べ4,849人の増を見込んでおります。平成31年度の組合員数をベースに児童生徒数の減少による教職員数の減、地公法改正に伴う臨時的任用職員の増加等を踏まえ、推算しております。

標準報酬月額総額等は、一般組合員の短期掛金・負担金の対象となる、給料月額と諸手当を含む標準報酬月額総額は、2,273億8,232万9千円で、対前年度比

169億7,554万5千円の増、また、長期の標準報酬月額総額は2,267億3,153万1千円で、対前年度比169億8,079万4千円の増を見込んでおります。

また、標準期末手当等総額は739億9,054万2千円で、対前年度比25億5,908万円の増を見込んでおります。

財源率について、一般組合員の短期給付財源率について、令和2年度の掛金率は、千分の42.1で、前年度と同率、負担金については、千分の42.21で、千分の0.02引き上げられております。

介護納付金財源率につきましては、掛金率・負担金率とも千分の7.49で、それぞれ千分の0.74引き上げられます。

長期給付財源率につきましては、掛金率の変更はございませんが、負担金率については、基礎年金拠出金の引き上げ等により、千分の0.2935引き上げられ、千分の139.1033となります。

イ 各経理の概要

<短期経理>

短期経理は、組合員及びその被扶養者の病気、負傷などにより被る経済的負担を補填、または軽減することを目的として実施する短期給付事業に必要な経費です。

収入は、掛金や負担金で、総額287億199万7千円、対前年度比20億3,560万8千円の増を見込んでいます。これは、組合員数の増等に伴うものです。

給付の決定及び支払いは支部において行いますが、資金運用の観点から、当座の支払いに要する経費を除き、収入した額を本部に回送いたします。

なお、本部執行分は、前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等でございます。

<長期経理>

長期給付については、退職後の組合員の安定した生活のため実施するもので、厚生年金給付と退職等年金給付で構成されています。

収入額は、合計752億2,624万4千円で、前年度と比較して、14億2,356万9千円の増となっています。主な増減は、組合員数増に伴う厚生年金保険料の増、追加費用負担金率の引き下げに伴う減などです。

収入額はすべて本部に回送し、本部において、年金の支払いを行うとともに、剰余金は、将来の支払い準備金として積み立てられています。

<業務経理>

業務経理は、短期給付及び長期給付の業務運営に要する経費で、その費用は地方公共団体が負担しております。

地方公共団体負担額は、組合員一人当たりの単価により措置されることとなっ

ており、その単価は対前年度比 440 円増の 8,210 円となる見込みです。

収入額は、4 億 1,433 万 1 千円で、対前年度比 4,920 万 6 千円の増を見込んでおります。

支出額は、3 億 7,562 万 6 千円で、対前年度比 2,650 万 1 千円の増を見込んでおります。

<保健経理>

保健事業は、組合員及び被扶養者の疾病予防、健康の保持増進、元気回復を図るため、第 2 期データヘルス計画や保健事業検討委員会による検討を踏まえ、組合員のニーズを尊重しながら、実施しております。

収入については、本部からの回送金及び県からの委託料等の合計 7 億 7,599 万 2 千円で、対前年度比 1,482 万円の増となります。なお、本部からの回送金の積算根拠のひとつである組合員数は、前年度の組合員数を基にします。地公法改正に伴う臨時的任用職員の組合員数増は、令和 2 年度の本部からの回送金には反映されておられません。

令和 2 年度保健事業実施計画について、平成 31 年度からの主な変更点について説明させていただきます。

まず、今年度開催しました保健事業検討委員会の報告を踏まえて変更する事業から申し上げます。

先ほど申し上げましたとおり、本部回送金に臨時的任用職員の組合員数増が反映されるのは令和 3 年度からとなりますが、現行の保健事業の枠組みの中で財源を捻出し、保健事業を一部先行実施することとし、3 つの事業の定員を増員します。

一つ目として、健診事業のうち若年者ドックの定員を 100 人増とします。

二つ目として、器官別健診の事業のうち、インフルエンザ予防接種助成の定員を 1,500 人増とします。

三つ目には、健康づくり事業のうちストレスドックの定員を昨年度 72 人のところ、100 人とします。

その他、主な変更としましては、引き続き特定健診等の受診啓発に取り組むこととし、特定健康診査及び特定保健指導の受診見込み数を増やしております。

なお、新型コロナウイルスの影響で、現在、訪問型の保健指導を見合わせています。

保健事業全体の予算額につきましては、6 億 9,817 万円で、対前年度比 989 万 6 千円の増です。

<貸付経理>

貸付経理は、組合員に対して、資金の必要状況に応じて、一般貸付、住宅貸付など 12 種類の貸付を行うものです。

令和2年度の償還件数は、15,221件を見込んでおり、対前年度比2,515件の減、償還金額は、10億602万8千円で対前年度比1億2,421万4千円の減を見込んでおります。

また、業務費でございますが、収入は、組合員数等を基にした配分基準により算出される本部からの回送金、支出は人件費等で、収入、支出とも3,373万7千円を見込んでおります。

支配人

<宿泊経理>

公立学校共済組合員の福祉の増進に資するため、宿泊事業として、神戸宿泊所「ホテル北野プラザ六甲荘」を運営しております。堅実な運営に取り組み、安全安心を提供する施設運営を目指しております。

重点としておりますのは、組合員ニーズにあったプランの企画と施設利用補助券の利用促進です。次に、学校はもとより一般企業・団体へのセールス強化により、新規顧客の獲得とリピーターの確保です。

また、公立学校共済組合の施設は、地域貢献、学校貢献などの事業をするよう要請されており、神戸宿泊所としましては、前年度実施しました「高校生ホテル」をはじめとした各貢献事業に取り組んでまいりたいと考えております。

令和2年度予算でございます。先ほど支部長からお話がありましたように、現状が不透明なことを踏まえた予算を提案させていただきます。

収入は、376,100千円、67,100千円の減となります。

支出は、経常費用で399,600千円、58,400千円の減となります。令和元年は計画的な大規模修繕がありました。それを差し引いた額を支出予算としております。

差し引き、営業損益は24,600千円の赤字となります。

また、令和2年度利用人数は、58,895人を見込んでおり前年予算から8,960人減を見込んでいます。

今回感染症の関係でこのような予算とさせていただいていますが、感染症の影響を脱した後、魅力ある企画を多く提案し、より多くの組合員様に来荘いただけるよう取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

(5) 質疑

会長

事務局から「令和2年度の事業計画並びに予算に関する件」について説明がございましたが、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

委員

新型コロナウイルスへの対応ということで、県教育委員会、市町教育委員会か

らは臨時休業等の対応について通知が発出されていますが、兵庫支部として組合員に向けて何か対応を検討されているようなことがあればお聞かせください。

事務局

一般的な注意喚起等は厚労省等からでていますので、教職員の皆様もそちらを留意していただいていると考えています。

共済組合としましては、本部の方から対面の保健指導は検討するようという通知がありましたので、対面のものに限り当面の間やめさせていただいているところです。ただ、電話での指導は続けており、皆様の健康管理には留意してまいりたいと思っております。

また、一般的な話ですが、六甲荘の運営上の留意点もありますので、宿泊所の方でも予防体制をとっているところです。

委員

4月より臨時的任用教職員が新たに組合員になるということに関して、本人はもちろんのこと所属所等はどのように周知を図っていかれるのか、今後の予定をお聞かせください。

事務局

臨時的任用教職員の方が組合員になられる、ということにつきましては、昨年の11月から12月にかけて実施しました公立学校共済組合兵庫支部の事務説明会で事務担当者の皆様に資料配布のうえ、ご説明をいたしました。

また、2月10日には文書で各所属所あてにも通知をさせていただいたところです。

そして「保健福祉事業の実施要項」の来年度版を3月下旬くらいに配布するのですが、そのときに臨時的任用教職員の方も対象となる事業については留意いただくよう所属所を通じてお願いしたいと思っております。

委員

組合員が急増することに対し、兵庫支部では事務量の増加も見据え、新たな職員の増員を検討されているのではないかと思います。

特に組合員証の発行に影響でないかということが心配をされます。手続きを含め、来年度当初に向けてなにか対応を検討されていることがあればお聞かせください。

事務局

組合員証の事務だけではなく、全体的に業務量が増えますので、来年度2人の新規採用を予定しているところです。また、事務改善等にも努めつつ、組合員証もできる範囲で早期に発行できるように努めてまいります。

委員

来年度の健康づくり事業の教職員メンタルヘルス相談センターの運営についての質問です。

来年度の予算額が増額されていますが、相談員を増員されるのでしょうか。

また、学校の教職員の相談件数は伸びているのではないかと予想しているのですが、実際窓口の相談件数がどのくらいあったのでしょうか。休日相談件数もわかるようであれば教えてください。

事務局

予算増額につきましては、相談員数は変更ございません。

ただ、メンタルヘルスに関して休まれている先生も増えている中で、研修等にも力を入れていきたいということで予算を増額させていただいたところです。

また、メンタルヘルス相談センターは、現在休日は開設しておりませんし、現時点では来年度もその予定はありません。

休日に関しては、本部の方で土曜に相談センターを開設しております。

土曜日だけの相談件数はわからないのですが、30年度、兵庫県から本部の相談センターに相談された件数は106件だったそうです。

委員

六甲荘の施設利用補助券にかかる効果的なPRにより利用促進を図るとありますが、今年度はまだ途中ですが、この施設利用補助券による利用状況がどのくらいかわかれば教えてください。

事務局

昨年度、宿泊は1,334件、飲食は4,911件の利用がありました。

本年度は神戸市の事件や、新型コロナウイルスの影響もありまして、現時点では3分の2程度に落ち込んでいるところです。

事務局

利用補助券は、毎年3月に駆け込み利用がございますが、今年度は新型コロナウイルスの影響か、利用がありません。

なお、昨年8月、今年2月に肉フェスタ等の組合員様対象の企画を販売したり、小中学校における運動会打ち上げプラン、音楽会打ち上げプランを企画し、利用補助券の利用促進を図ってまいりました。

委員

施設利用補助券のことですが、今年度合計額は変わらないが、額面、枚数が変わったことで、前年度と比べてどんな影響が出ているかということをお聞かせください。

事務局

昨年度比で利用枚数は減っています。

大きな理由として、まずは第二四半期から第三四半期にかけて、9月ごろ須磨の小学校の事件がありまして、市内の小学校全体が宴会等を自粛しようという動きで、予約キャンセルが300万円ほどありました。

2月以降の宴会も大きくキャンセルがあり、今年度は昨年度と比べられるようなベースになっていません。ただ、事実として利用枚数は減っているということです。支所と相談しながら組合員が利用しやすいような施策を今後も検討してまいりたいと考えております。

委員

当初来年度の組合員数の増加について、保健事業検討委員会では6千人ほど増える見込みだったのが、ここにきて5千人弱の増、ということになっているのはどういふことでしょうか。私の感覚では随分違うと思いますが、何か理由があるからなのか、きちんと計算した結果こうなったのか、その辺を聞きかしてください。

事務局

昨年度から事業量を見込んでいくにあたって、6千人増と試算させていただいていたのですが、来年度の事業計画・予算を立てるにあたり、もう一度きっちり計算させていただきました。

臨時的任用教職員の数は6千人と見込んでいるのですが、6千人のうち既に組合員資格を持っておられる方が神戸市で約800人、県費負担で約500人おりまして、組合員の増数としては5千人弱という数字を見込んでおります。

委員

臨時的任用教職員が組合員になるということで、段階を追って周知していただいているわけですが、とりわけ人間ドックは4月中旬で申し込みが締め切りになりますので、年度当初から期間が短い。所属長が人事異動で変わるという学校もありますので、漏れがないようにさらに徹底をお願いしたいと思います。

事務局

先ほど申し上げました通り、保健福祉事業の実施要項をお配りするときに注意喚起をしたいと思っておりますので、できる範囲で周知に努めます。

事務局

担当者への周知だけではなく、臨時的任用教職員がそれを申し込めることを周知しなければならないと考えております。担当者は臨時的任用教職員が組合員になったから申し込めることはわかっていたとしても、臨時的任用教職員自身が、組合員であり人間ドック申し込めると認識してるかは別の話です。

臨時的任用教職員に対して、組合員になられてこの事業に申し込めます、とい

う観点の周知をしなければならぬと考えております。

委員

保健事業検討委員会でも報告されたように、来年度の状況というのがやはり臨時的任用教職員の年齢構成が実際にどうなのかも見ながら翌年度の事業計画が立案、検討されていくことになると思います。

その中で新型コロナウイルスをきっかけに感染症への意識が高まってくるのではないかと思います。そのようななかで予防接種助成もその動向をみながら翌年度に向けて拡大についてもしっかりと検討いただければと思っています。

事務局

インフルエンザ予防接種助成については来年度前倒しで1,500人増やします。令和3年度にも増を考えておりますが、どのように今後進めていったらいいのか、新型コロナウイルスの状況もどのように動くかわかりませんが、検討は進めたいと思います。

委員

保健事業の生涯生活設計講座の件です。

現在、通常国会で定年延長関係の法案が一応登録はされています。しかしながら閣議決定含めて審議されるのかまだまだ不透明な状況ですが、雇用と年金の確実な接続がなされていない状況です。

そのようななかで手続きも含め、安心できるよう組合員から地域での開催も含めて開催の要望を聞いています。それも踏まえ、関係団体とも調整いただきながら事業の実施をお願いします。

事務局

来年度は皆様からのご意見を踏まえ、退職後の仕事について考える前に年金の話を知りたいというご意見もあり、夏休み時期の開催を考えさせていただいているところです。

これからもご意見や、共催団体の皆様とも協力しながら皆さんが安心して退職を迎えられるように、定年後の生活を送れるように、ということを配慮しながら進めていきたいと考えております。

委員

施設利用補助券の件ですが、一人当たり12,000円の補助券が配られていますが、その10分の1も使われていない状況ということで、組合員に還元されるべきお金がここで還元されていないまま残っていることになると思います。

その状況を考えると、今まで通りではなく新たなことを考えていくべき時期に来ているのではないかと思いますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

事務局

今年には神戸市の小学校の問題、新型コロナウイルスの問題があり、我々が思っていた以上に条件が大きく変わりました。

制度設計した時の社会状況に戻るまでは今までの通りとさせていただき、その後、皆様からご意見をいただきながら検討していきたいと思っております。

委員

組合員証の件です。薄い材質であり、個人の保管の状況にもよるとは思いますが、いざ病院にいったときに印字が読みにくくなっているせいか、病院とスムーズな手続きができないような事例を聞いています。

特に裏面、自分で書く住所欄が薄く確認できない等の事例も聞いています。

材質の改善を検討できるのであればお願いしたいと思っております。

事務局

組合員証の材質は、公立学校共済組合全体共通でございますので、兵庫支部だけで変更というのは難しいです。汚損につきましては、申請していただきましたら再発行ができますので、そちらで対応させていただきたいと考えております。

委員

重ねてにはなりますが、施設利用補助券のことです。

額面と枚数を変えたことがどうだったのかということは、先ほど答弁されたように今年度はいろんな状況があって、直接比べにくいということで仕方がないのかもしれない。来年度は今年度と同様と聞いていますので、それが昨年度と比べてどうなのか、どんな利用状況なのかについてはしっかり検証し、組合員に適切な還元がされるようにお考えいただければと思います。

事務局

額面等の変更について、今年度は検証できないと答弁させていただきましたが、ご意見いただいた点については、支部と十分打ち合わせし、検証していきたいと考えております。

六甲荘としては、皆さんに利用していただけるような魅力ある企画というのを提案して一人でも多くの利用補助券を一枚でも多く使っていただけるよう努力してまいりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

委員

保健事業についてです。将来的に県からの受託でなくなる2事業は、組合員から求められている事業ということで、共済組合兵庫支部独自財源で実施することですが、今後も県から受託する指定年齢人間ドックの件です。

指定年齢人間ドックも組合員から求められている事業ですが、市町費負担組合

員は対象から外れています。組合員からは、組合員の公平平等という観点で、同じ事業をやってもらいたいという要望を聞いています。

財源のことがありますので、簡単にやれるものではないと思いますが、引き続きそのことも頭には置いていただき、何かの工夫でできるようになればと思います。それも引き続き検討いただきたいと思います。

事務局

人間ドックは、事業自体はこれからも実施していきますので、市町費組合員の方も申し込んでいただけますし、申込者の 90%以上が受けていただけているところです。

ただ、指定年齢人間ドックは、県で費用を負担してもらって、共済組合で実施しております。市町費負担の方については、市町へ負担のお願いを今後も続けていきたいと思っております。

(6) 議案の承認・審議終了

会長が「令和2年度公立学校共済組合兵庫支部及び神戸宿泊所の事業計画並びに予算に関する件」について承認を求めたところ、異議ない旨認められ、以上をもって審議は終了した。